えんちょう先生の わくわくだより

NO.16　H30.9

♣あそぼうデーの日は、何をやってもいいんだよ！

♣大きい子も小さい子も混じって、楽しく遊ぶ日だね。

子供と一緒に泣き
子供と一緒に笑い
子供と一緒に遊び
子供と一緒に学び
子供と一緒に生きてゆけば
子供は安心して
ついてきてくれます
信頼してくれます

須永　博士（すなが ひろし）

ひとりぼっちの愛の詩より

今年もトラックいっぱいの砂を園庭に入れてもらいました。

みんなの代表で、年長さんが、ものすごく頑張った！

朝、西門から入ってきたダンプカーに目は釘づけのこども達。砂が一回落ちる度に、拍手が沸きます。運転手さん「こりゃあ恥ずかしいなあ。」６つもの砂山を崩して、先生と年長さんで園庭の穴ぼこを埋めていきます。二輪車で運ぶ子、バケツで運ぶ子、スコップで運ぶ子と様々。ぱらぱらと細かい雨が降ってきても、先生も年長さんも一生懸命に働きました。園長先生は、一時間やっても残る砂山に「こりゃあ無理だ～」と思いかけたのだけど、みんなのやる気に押されて、・・・途中、雨が大きくなりかけたので、年長さんには部屋に入ってもらい、給食先生から、特別ごほうびのゼリーを貰って食べました。先生達は、雨が髪の毛を滴り落ちる中も頑張ったよ。稔記先生の運転する軽トラックの後ろに、土をならすトンボを括りつけて、園庭をクルクルと均して・・トンボだけでは軽すぎるから、幸代先生が後ろに乗って回りだすと、こども達は、おもしろがって手を振っていました。本当にえらかったけど、園庭も砂が埋まって運動会の準備ＯＫです。みんなの力は凄いなあと感心してしまいました。翌朝、腰が痛いという年配の先生方と「大丈夫です！」と軽く言ってのける若い先生、こども達もみんな元気！う～ん若さがうらやましい！さあ、運動会頑張ろう！

お姉ちゃんに作ってもらったバックを掛けて嬉しそうに歩く２才の子、年長さんに混じってベースボールを楽しむ子、未満児さんがおそるおそるジャンピングをやる所を、「もっといっぱい飛びたいなあ」と思いながらも見守ってくれる年長さん。お姉ちゃんの横でまねをしながら何やら作り始める年少さん。一人でじっくり砂を集める子やだんご作りをする子の姿も見えます。自分で見つけた遊びに自由の満足感を味わうこども達の半日でした。